

キャラクター名
リント・フレスヴェルグ

プレイヤー名

種族	ドレイクナイト	種族特徴	暗視、魔剣、飛行、竜化、光のプレス、弱点(魔法+2)		
生まれ	賢者	性別	男性	年齢	13歳
冒険者Lv	5	経歴	喪失種族特徴【魔剣、飛行、竜化、光のプレス】		
経験点	0				

技	11	器用度	6	5		能力値	22	ボーナス	3
		敏捷度	5			16 + 2		3	
体	13	筋力	11	1		25		4	
		生命力	9			22		3	
心	8	知力	16			24		4	
		精神力	12	6		26 + 4		5	

技能	Lv.	技能	Lv.
コンジャラー	2	エンハンサー	5
フェアリーティマー	2	バード	1
マジテック	2	アルケミスト	2
スカウト	1	バトルダンサー	5
レンジャー	1		
セージ	2		

戦闘特技				
両手利き	1-283p			p
ディフェンススタンス	1-287p			p
二刀流	1-281p			p
必殺攻撃	1-288p			p
				p
				p
				p
				p
				p
				p

言語	会話	読文
エルフ語	○	
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	○
ドワーフ語	○	
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	
グラスランナー語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
ガゼルフット	
マッスルバアー	
アンチボディ	
ジャイアントアーム	
ミラージュディズ	
ヴォーパルウェボン	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ポイントガード		1	1	
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	バトルダンサー	合計値	9	0	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ドレイクヘッド	1H両	20		2d+ 9	10	9	20											
<small>(1/3スターソード・カスタム) (魔法の発動時) 剣の刀身部分、密度が高く面積の割に重たい。</small>																		
ドレイクファンク	1H両	20		2d+ 9	10	9	20											
<small>(1/3スターソード・カスタム) 剣の柄部分、柄には思えない重量で、柄単体でも武器として成立する。</small>																		
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	18 m	54 m

回避	防護点
2d+ 9	0

HP
37

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
操霊魔法	2	6			
妖精魔法	2	6			
魔動機術	2	6			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 6	2d+ 4

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 8	2d+ 10

MP
48

装備品	説明
頭	ラルヴェイネの帽子
耳	ラルヴェイネの耳飾り
顔	ラルヴェイネの髪飾り
首	宝石ケース(in宝石6個)
背中	マジスフィア(中)
右手	ラルヴェイネの手袋
腰	ブレードスカート
足	ラルヴェイネのブーツ
その他ラルヴェイネのネクタイ	

装備品	説明
左手	疾風の腕輪

その他メモ	自動失敗
【あらすじと二つ名】	チェック
蛮族領の中でも上位の、伯爵称号の親を持つドレイクの子供。	□□□□⑤
当然ながら剣を持って生まれた通常のドレイクであり、資質についても高水準の子供だった。	□□□□⑩
強いて言えばブロークンのドレイクを友達としていた点は異端だったかもしれない。	□□□□⑮
蛮族の統治の仕方と価値観が相容れず、力を蓄えつつも周りを信用せずに育ちきった。	□□□□⑳
成長スピードは著しく、時が来るとブロークンの友達に自身の魔剣を譲り、友達を虐げていたその地の領主(親族ではない)に決闘を申し込んだ。	□□□□㉑
上位蛮族のプライドを利用し領主を土俵に引きずりだし、魔剣無しで勝利したことは地方にとって大きな話題を呼んだだろう。	□□□□㉒
異様だったのはその試合前の話であり、本人は剣の譲渡のみならずその場で力を誇示するための角や、あまつさえ翼をも奪り取って見せた。	□□□□㉓
最初は周りにブロークンと蔑まれていたものの、徐々にその異様さに決闘の見物人は静まり返り、誰もその詳細を語りたがらなかった。	□□□□㉔
蛮族史でも有数の気狂いと言っ声もあったが、直前までの人格や能力、何より気迫からその正体は「蛮族界を憂う戦神ダルクレムの化身」な	□□□□㉕

